



意外 快晴の静かな百名山

## 上州 須原尾根～上州武尊山

前田(た)

【日時】 2011年12月23日(金)～24日(土)

【メンバー】 L佐貫、棚橋、金沢、前田(た)

12月の三連休はしっかりとラッセルをしに行こうと決めていたが、折しもクリスマス寒波到来との予報であった。日本海側の山は大荒れになると予想されたため、降雪量、エスケープ、交通など比較的条件がましだろうと思われる武尊山に行くことになった。結果的には拍子抜けの好天で、頂上での大展望が得ることができた。ゲレンデでの練習が続き山登りを暫くしていなかったため、なまりも解消でき無事ラッセル初めもできて大満足の山行となった。

ところで今回の核心は、前日に家人の冷たい目を振り切って出発することであった。一般の方には大事なイベントであるという誕生日とクリスマスをまとめて放ったらかして自分だけ山行に出かけてしまったからである。帰りの車の中で、金沢さんから「そういえばクリスマスでしたっけ」という発言が出て非常に感心した。やはり山屋は下界の瑣末事には囚われないのであろうか。

12月23日(曇り)

宝台樹スキー場の駐車場に所定の料金を払って車を停める。

事前の計画では、宝台樹スキー場リフトトップより宝台樹尾根経由で須原尾根に乗り上げる予定であったが、調べたところまだ最終リフトが稼動していないということで、上の原山の家登山口より夏道経由で入山することになった。

唐松林を抜け名倉沢に合流するとやっと登山の雰囲気が出てくる。沢はまだ雪で埋まっておらず、はまらないように気を使いながらの歩行となる。今回金沢さんと私はスノーシュー(MSRライトニングアッセント)のデビューとなり最初慣れるまで何回かスノーシューが外れてしまった。もうちょっと良い締め具にしたらいいのになどとスノーシューに対してしょうもない愚痴をこぼす。

名倉沢の二股より沢と別れ須原尾根に突き上げる尾根を登る。ここがなかなかの曲者で、雪の下は笹藪ですぐ踏み抜いて嵌ってしまう。25000分の1地図を見ながら登山道通しで登っているつもりであったが、後で昭文社のエアリアマップを確認したら現在の登山道は沢沿いに進むような違うルートに変更されている様だった。道理で笹藪に苦労する訳だ。時間と体力を浪費しながらラッセルし須原尾根に到着した。

名倉のオキからは平坦になり快適に歩を進めた。単調にラッセルし歩きながら寝てしまう(単純な行動って何だか眠くなりませんか?)。幕場である手小屋沢避難小屋は少



し入り口が埋まっているだけでほとんど露出しており数分の雪掻きで中に入ることが出来た。水を作って落ち着き宴会が始まるとこれもまた新人には（つまみの）勉強の連続だった。棚橋さんが作ってくれた正しく焼いた餃子や、佐貫さんの謎のチーズ納豆など（山で納豆を食べたのは初めてです）。メインディッシュの豚汁を頂く頃には、気持ちよく酒が回りほぼ寝ていたのであまり記憶がない。

12月24日（晴れ）

朝からとても丁寧に作られたリゾットを食し、薄暗い中出発した。夜中のかなりの降雪を覚悟していたが、さほどでもないようだ。ばらばらと降っていた雪も次第に止んでしまう。暫くは傾斜もなく快適で楽しいラッセルが続いた。

標高1900mからの急斜面にさしかかると急に苦しくなり歩みが遅くなる。雪の溜まっている斜面を避け木につかまりながらサイドに逃げたり、壁を崩しながらもがいて登ったりする場面が多くなる。稜線にでる手前に岩場があり、鎖はまだ露出していた。アイゼンに履き替えるが、クライミングというほどではなくロープも出さず難なく通過することができた。



稜線に出ても凍っておらずアイゼンでは潜ってしまうため、すぐスノーシューに履き替えた。

頂上では谷川岳や至仏山も顔を出しており、あの悪天が予想された天気図はなんだったのだろうと思った。

下山は往路を戻る。小屋より先も前日のトレースも消えておらず下りはスピードがでた。名倉のオキからの下りでは前日苦労したので同じ所を下る気になれず、トップを歩いていたとき、少しトレースを外したのをきっかけに尾根から外れて沢の方に直接降りた。しかしそこも前日と同じく笹の滑り台が酷かった。皆さんごめんなさい。名倉川上部はスキーに良さそうな素敵な雪が溜まっていた。

沢沿いはカモシカのトレースがあって、人のトレースと交差していた。見た目は人のトレースと変わらないほどしっかりしていたのに踏み込んでみると随分潜った。やはり人間よりは足が細いみたいだ。

2日を通して人に会うことはなかったが、林道に出るとスノーシューの跡が沢山あった。どうも大幽洞窟に氷洵を見に行くツアーがあるようだ。

手袋が凍りつくような寒さはあったが快晴のピークハントもでき、冬山の準備として充実した山行を行うことが出来た。

【行程】 12/23 登山口（8:50）～手小屋沢避難小屋 C1（15:10）  
12/24 C1（5:58）～武尊山山頂（11:11/16）～手小屋沢避難小屋（11:50/12:00）  
～登山口（15:40）

【地図】 藤原、藤原湖、鎌田